

射水市と連携しコストコを地域活性化の起爆剤に

問 コストコ進出を射水市と連携し積極的に支援せよ

答 コストコの商圏は広域で、県内外からの集客も見込めることから、地域の活性化につなげていくことが重要。先行例では、既存の商店街への悪影響は特になかったと聞いている。
射水市と連携し、地場製品の販売などにも取り組んでもらえるように積極的に協議を進める。



地域の要望や提案をお聞かせください!

道路補修や通学路の安全安心など地域の交通環境整備、子育て支援や高齢者、障害者福祉施策などに関する相談など様々な意見をお聞かせください。
現地に出向き、お話を伺い、政策実現のために誠意を持って対応をいたします。



ミニ座談会やりませんか?

地域の公民館などに呼び出していただき、地域の未来や問題解決のために、ざっくばらんに話をしませんか。
5人でも、10人でも気軽に声をかけてください。



地方新時代を切り拓く
日本の真ん中・射水から



永森直人県議会通信 Vol.7
(H26.3月発行)

-発行-
自民党富山県議会議員会
永森 直人
〒939-0306 射水市手崎363-1
TEL.0766-55-3533
FAX.0766-55-3577
E-mail
nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp

なが もり なお と 永森直人県議会通信

ご挨拶

平成26年3月の北陸新幹線開業がいよいよ間近に迫ってきました。
首都圏とのアクセス面で新幹線開業先進県との格差が解消され、東京、大阪、名古屋と等距離にある本県の強みがますます発揮できる環境が整うことになります。
実際に射水市において、大型コールセンターや大型倉庫型スーパー「コストコ」の誘致が決まるなどの大型投資が進みつつあることも、新幹線開業とは無関係ではありません。
観光振興や企業誘致などにこれまで以上に活発に取り組み、新幹線開業効果を県民が十分に享受できるようにしていく必要があります。
さらには、東海北陸自動車道の全線4車線化や富山新港の港湾設備充実に取り組み、中国などのアジア諸国、ロシアや欧州諸国への日本海側の玄関口としての地位を確立していくことが今後の大きな課題であると思っています。
私は、立山連峰をバックにコンパクトな範囲に里山があり田園があり世界に開かれた玄関口・富山新港をもつ射水市は、富山県の縮図であると考えています。
この射水市から富山県の新時代を切り拓く政策を発信し続けていきたいと考えております、皆様からの積極的な政策提言そして引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。



こんなことに
取り組みます!

○北陸新幹線、並行在来線開業を見据えた都市政策

小杉駅や越中大門駅など駅を拠点とした地域交通の充実や地域の再生・活性化に取り組みます。

○誰もが安心して暮らし続けられる福祉政策

児童保育の充実などの子育て支援、医療介護の充実に取り組みます。

○未来を見据えてのさらなる交通インフラの整備

日本海側の玄関口を目指し港湾の充実や道路交通網の整備促進に取り組みます。

皆さんからのご意見、アイデア、ご要望をお待ちしています。

永森直人事務所

住所：〒939-0306 射水市手崎363-1
電話：0766-55-3533 FAX：0766-55-3577
E-mail：nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp



富山県議会議員
永森直人 (ながもりなおと)
略歴
昭和50年1月20日生まれ
東京都立大(現 首都大学東京) 卒
平成9年 富山県庁入庁
平成22年 富山県庁退職
平成23年 富山県議会議員選挙で初当選
平成25年 自民党富山県議会議員会 所属

トピックス
1

平成26年度富山県予算が成立

■主な予算

○新幹線開業対策、並行在来線開業対策

2015年3月に北陸新幹線が開業、同時に北陸本線がJR西日本から富山県や射水市などで作る第3セクターに経営分離されるため、その対策費として大きな予算が盛り込まれました。

新幹線開業直前対策費（観光キャンペーンや安全対策など）	20.2億円
あいの風とやま鉄道資産取得費等補助金	131.2億円

○農林水産業の振興

飼料用米等利用拡大事業	1,180万円
新富山ブランド米開発事業	350万円
鳥獣被害防止対策事業	1.5億円

○地域福祉の向上

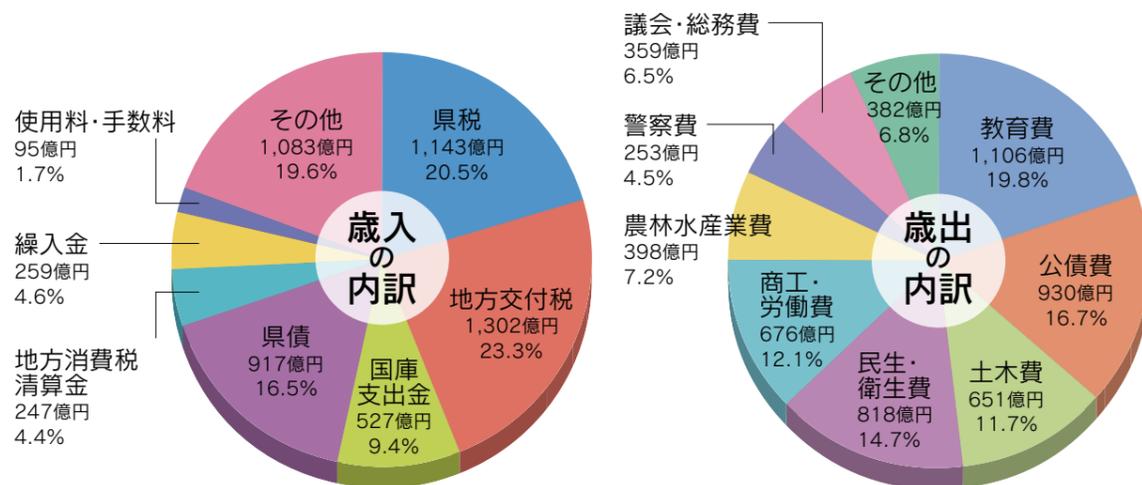
放課後児童クラブ（学童保育）事業	3.3億円
新たな総合リハビリ病院整備事業	58.6億円

○道路整備や農地整備事業

■平成26年度一般会計予算歳入・歳出の概要

平成26年度富山県当初予算は、約5,573億円で前年度比2.2%の増加となりました。来年3月に迫った新幹線開業に向け、積極型予算となりました。

平成26年度	平成25年度	対前年比 増減率
5,572億66百万円	5,450億62百万円	+2.2%



トピックス
2

県議会質問

平成25年12月議会本会議、平成26年2月議会予算特別委員会で質問しました。

七美太閤山線 平成26年度末の部分開通決まる

問 県道小杉婦中線（七美太閤山線）の戸破高架橋の整備見通しはどうか

答 JR北陸本線との立体交差部を含む、針原地内から県道富山高岡線（旧8号線）までの区間については、JR西日本との協議がようやく整ったことから、平成26年度末の部分供用を目指す。さらに、県道富山高岡線との立体交差区間を含む、戸破地内（北部線）までの約280メートル区間については、用地取得の目的が立ち、早期の全線完成に向け引き続き努力する。



工事が進む七美太閤山線

富山新港の港湾機能強化に全力

問 環日本海交流拠点を目指し、港湾機能の強化や物流促進に取り組め

答 富山新港におけるコンテナ取扱量は着実に増加しており、平成25年の取扱量は過去最大を記録した。一方で、貨物量の増大により、沖待ちも発生しており、コンテナバースの延伸を含めた港湾機能強化を国に強く働き掛けていく。

富山高岡広域都市計画区域マスタープランの都市計画決定は本年夏ごろ

問 富山高岡広域都市計画区域マスタープランの改定を早期に進めよ

答 概ね半年後の本年夏頃には、都市計画決定できるものと見込んでいる。その後、個別の市街化区域編入の作業に移り、平成28年の夏頃には都市計画の手続きを完了したいと考えている。

伏木富山港 荷主奨励金の成果は

永森 直人氏（自民）

〈伏木富山港の荷主奨励金〉成果が出ているか。

佐野商工労働部長 今年度の他港からのシフト貨物や新規貨物の量は前年度の約2倍、2013コンテナ換算で3866個となる見込みだ。

〈県内企業〉利用実態は。

佐野部長 今年度調査で、輸出入のいずれかで伏木富山港を利用している企業は75・6%。コンテナ貨物量の割合では46・9%となっている。

柴田土木部長 1割程度で発生している。コンテナバースの延伸を国に強く働き掛け、ターミナルの作業ヤード拡張に向けた検討も進めている。荷役組合では、2隻同時荷役を今月から継続して実施する予定だ。

商工労働部長 シフト、新規は約2倍